

むつ青年会議所発行

青会新報

隔月刊

10月14日(火)
2014年(平成26年)

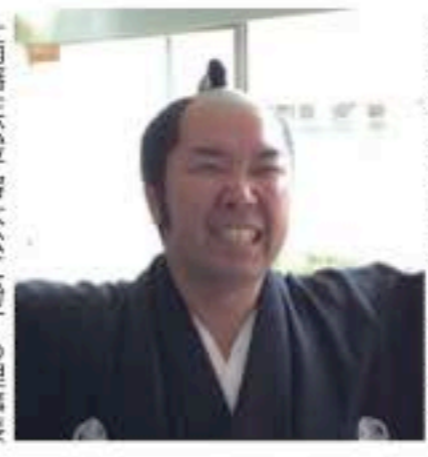
発行元
一般社団法人 むつ青年会議所
〒035-0031 青森県むつ市柳町1-10-25
まさかりプラザ内
発行責任者 総務情報委員長 佐藤 恭太

理事長挨拶

第55代理事長
齋藤 晃史

皆様こんにちは。10月に入って朝晩の暖差が激しくなってきましたが、如何お過ごしでしょうか？

まずは、8月臨時総会におきまして村館君が次年度理事長として承認されました。理事長の務めとして来年度を任せられる人を決めることができ一安心です。さらに、9月定時総会では次年度理事役員も決まり、これから村館次年度体制が本格的に



斗南藩主松平容大公に扮する理事長

動きだしますが、私も直前理事長として最終年度協力いたします。

8月といえば第30回目を向かえましてみこし祭りです。竹本委員長の獅子奮迅の動きで今年も無事に終えることが出来ました。JCみこしも太鼓のリズムに合わせて高校生が元氣よく担いでおり、見ていた方も楽しむことができたのではないのでしょうか。

9月最後を締めくくったのは創立55周年記念式典懇親会です。ご来賓の皆様や来訪JCのメンバーは基より、これまでの55年間むつ青年会議所の歴史を支えて下さった先輩方に感謝申し上げます。これを持ちまして55周年に関しては全て終了となりました。原田委員長、山道記念式典担当理事、高屋記念事業担当理事、川上総括幹事、お疲れ様でした。

東北青年フォーラム in 湊町酒田

J.C.研究局 局長 坂本 大助



9月5日、7日、山形県酒田市において、東北青年フォーラムが行われました。個人的には今年度、東北地区協議会、東北ゼミナール委員会への出向がありましたので、同日行われた提言発表と閉講式について書こうかと思いません。

うーん、2月、宮城での開校式に始まり、今回の山形での閉講式

式まで、思えば期間と時間は短く感じつつも、素直な気持ちで深く自己の思考を掘り下げる事の出来た、今までの青年会議所活動、運動では体験することの無かった、特に真摯な考えについて、その理念を追求できる長い時間を有難く頂いた感が率直な気持ちですな。東北青年フォーラム、ゼミナール閉講式ときまして、提言の発表を寸劇により表現す、という計画のもと全シナリオ担当を任せられ、なんとか東北各地から集まったゼミ生全員でまとめる事が出来たと思います。特にその場を設けたゼミ運営メンバーは私の中で孤高の存在に昇華しております。さてさて、地区協議会を見てみたい一心でゼミに志望し参加し、思考を掘り下げるその楽しさに触れ、それは今も続いていることであって、もしかすると今回のゼミナール開校式が全ての始まりのような気がしてなりません。東北人が東北の今を思いっきり感じる、または考える事の出来る、ゼミナールはそんな場ではないだろうか。なんて思ったりもして、真っ新たな気持ちで参加出来たこと、嬉しく思います。齋藤理事長、出向させてくれて有難う。半端無いです。そして山形に来てくれて、有難う御座いました。感謝申し上げます。こと青年会議所に属する者として、新たに芽生えた一つの目標に進んで行こうかと。2014ゼミナール、東北青年フォーラムからの自分の本当のJAYCEEスタートなんじゃないか、これ。因みに私、皆勤賞表彰され候。讃えよ、俺。

次年度理事長として

副理事長 村館 洋介



9月17日の総会にて次年度役員が決定しました。次年度体制としては理事・役員合めて17名となり、来年の事業へ向けて動き出す準備が整いました。また、数年ぶりにむつJCとして青森ブロック協議会へ委員長として佐藤恭太君が、東北地区協議会の副委員長として坂本大助君、幹事として立花一行君が役員として出向します。

来年は26名のスタート人数となりますが事業の数としては大変多い年となります。(みこし・かるた・徒歩事業・ブロック大会・異業種交流会・全国大会等)今迄以上に一致団結し、むつJCとして一枚岩となり来年一年を務め上げたいと考えております。先輩方にも協力をお願いする機会があるかと思えますが、更なる指導、ご鞭撻をお願いいたします。

新入会員紹介



シシラルタ生命保険株式会社

尾崎 幸

今年度より入所させていただきました。尾崎と申します。昨年、関西よりUターンで地元むつ市に戻って参りました。むつ市で、同年代の方達と何か面白いことをしてみたいと漠然と思っていた時に、青年会議所の異業種交流会に参加いたしました。その時、活動内容のDVDを拝見して、即入所を決めました。事業内容も目的が明確でしたし、何よりメンバーがとても輝いていたからです。今後は、積極的に事業に参加し、自分自身も高めていけるよう邁進してまいります。よろしくお願いたします。



シシラルタ生命保険株式会社

伊勢田 里美

この度入会させていただく事になりました伊勢田です。入会にあたり、きっかけとなったのは異業種交流会に参加させて頂いた時に懇親会で声をかけてもらった事でした。仕事上色々な場所に顔を出す機会が多く人と人の繋がり、縁がすごく大事な事だと感じています。何か人の役にたたい、喜んでほしいと思っております。1人では何も出来ない事で、行動にうつすにはやはり組織に所属する事が近道なのではないかという思いをもった、個ではなく、集合体になってはじめて何かを成せるのだと思ひ、歳も考えず(笑)入会させていただきました。残り期間はあまりないですが、皆様と共に精一杯活動出来ればと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

りんご娘が華を添えた

まちづくり委員会 委員長 竹本慎太郎

第30回みこし祭り



清め水を浴びながら威勢よくみこしを揺らす、メンバーと記念事業に参加したボランティアスタッフ。

去る8月19日(火)、みこし祭りを開催致しました。毎年恒例で今年も30回目を迎えることとなり、青森県のご当地アイドル「りんご娘」にアトラクションとして来て頂きました。各団体のみこしも担いでいただき、子供たちにとっては良い思い出になったのではないかと思います。大人の方たちも高校生のアイドルを目の前に若干はしゃいでいたように思います(笑)

昨年より参加団体が一つもかけることなく集まっていたいただき、また当会議所のみこしにも数多くの担ぎ手が集まってくれました。中でもやはり高校生のパワーがすく、次代を担う若手としてこのまむつ市を引っ張っていく存在になってくれればと思います。

最後に、メンバーを始め、御協力頂いたすべての関係者の方々のおかげで今年もみこし祭りを終えることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

2014年度9月 定時総会懇親会

専務理事 立花一行



多くの先輩方にご参加いただき、夜遅くまで大盛り上がりの盛況となりました。

去る9月17日(水)はねやホテルにおいて、2014年度定時総会並びに懇親会が開催されました。総会において無事次年度体制が決まり、懇親会において、OBの皆様を招いての次年度体制のお披露目と相成りました。この度はお忙しい中飛び入りで駆けつけて下さった先輩もおり、お陰様を持ちまして盛大に執り行うことができました。先輩方お一人ずつから次年度へ向けての激励のお言葉を頂戴し現役メンバー一同想いを新たに、志を高く持つてJ.C運動に邁進して行けるものと思います。今年度、齋藤理事長のもと残り3か月、そして次年度は村館理事長のもと、がんばるぞー！

会津藩公行列

J.C研究局 幹事 相内 友博

9月23日姉妹都市でもあります会津若松市で行われた藩公行列に齋藤理事長を筆頭に沢山のJ.Cメンバーで参加してきました。

私自身は初参加でしたが道中8時間J.Cメンバーと語り有意義な時間でした。当日斗南藩士に扮して約8キロ会津若松市内を練り歩きましたが綾瀬はるかさんもゲストということで沿道の人達は例年の倍以上の盛り上がりでした。私自身会津若松市に来て、藩公行列に参加して関心したことがありましてそれは市としての一体感です。市全体でこの事業を皆で成功させたい熱意がピンピンに伝わってきました。卒業まで毎年参加決定です(笑)

この熱い思いを少しでもむつ市の為にJ.Cメンバーと頑張っていきたいと思えます。遅い夏休みまた来年楽しみます。



55周年記念式典

55周年記念式典担当理事 山道直寿



一般社団法人むつ青年会議所創立55周年記念式典が9月28日に行われました。

当日は、来賓、むつ青年会議所OB、J.C関係者、事業で仲間になった高校生に、創立55周年を祝って頂きました。式典を準備するうえで実行委員長からこれだけは実施したいというポイントがありまして、それは55周年に至るまで支えて

下さったむつ青年会議所の歴史を作った諸先輩に対して感謝の意を示したいという事でした。そこで実行委員会では、出席して下さった諸先輩、支えて頂いた企業をぬかりなくおもてなすことを一番に考え実行しました。

むつ青年会議所には継続事業が様々ありますが、歴史を作ったOBに今年度理事長が実施した記念事業「まさかりロード」の紹介をし、

現役メンバーも自分達と同じで精力的に活動をしているんだなと思ってもらえる事が一番の恩返しなのでと考え委員会では行動しました。準備は、しっかりこなしつつも得意でしたが、本番では数々のトラブルが発生し、私的には反省を踏まえ良い成長をさせてもらいました。むつJ.C60周年に向け微力ながら頑張っていきたいと思っております。